

おらんくのは安心!

県産ペットフード輸出へ

食品開発販売のアミノ

エース(高知市大津乙、吉野和守社長)が手掛ける県産ペットフードが、近く東南アジアへ輸出されることになった。中国



東南アジアへ輸出される。ペットフード

アミノエース(高知市) 東南アジア向け

製品に対する不安が広がる中、原料に県産品を使用した健康志向が現地企業との関心を引いた。今月下旬、正式契約の予定。
同社は県食品工業団地の事業者らで設立、今春から県内食品メーカーと共同で十品目のペットフードを開発・販売している。

けんかま(須崎市)のちくわやかまぼこ、渋谷食品(日高村)の焼き芋ふりかけ、高知食鶏加工(高知市)の四万十鶏ささみ、吉永鯉節店(土佐市)のソウダカツオ、野村煎豆加工店(高知市)の興業が高知新港の利用企劃を探していたことから「徐々に製品の良さを分

社との取引が決まった。スター社はシンガポールとインドネシア、マレーシアの三国で独占販売権を持つ。
シンガポール政府の入許可を受けた上で吉野社長らが今月下旬に同国を訪ね、正式契約を結ぶ予定。県シンガポール事務所の尾崎博昭副所長は「日本製への信頼度は高い。魚のすり身を使った手軽なおやつタイプのペットフードは珍しく、興味を持ってもらえた」と振り返り、吉野社長は

「徐々に製品の良さを分かってもらい、ほかの国にも広げていければ」と話している。

(浅田美由紀)